WITH PHONE

With Phone 説明書

公開ベータ 0.9.2 ・ 2026年11月

With Phoneは、VRChatの中で使うスマートフォン型のコミュニケーションツールです。この説明書では、導入の手順、それぞれの機能の使い方、うまくいかない時の対処をご案内します。

- 利用規約・プライバシーポリシー・安全への取り組み: https://withphone.alive02.com/
- お問い合わせ: support@alive02.com

1. 動作環境

項目	内容
VRChat	PC版（Windows 10 / 11）。Quest単体では動作しません
遊び方	VR・デスクトップの両方に対応しています。デスクトップではペンモードでマウス操作ができます
Unity	2022.3
必要なツール	Modular Avatar
VRChatの設定	OSCを有効にしてください
音声通話	Microsoft Edge または Google Chrome
ログイン	Discord または Google のアカウント
VRスクリーン（任意）	SteamVR。にゃるかでぃあなどをVRスクリーンに出す時に使います

同期パラメーターは、通常版が約49 bit、軽量版が約25 bitです（VRChatの上限は256 bit）。

2. 同梱物

ファイル	内容
WithPhone.unitypackage	アバターに入れるWith Phoneの本体です。通常版（WithPhone.prefab）と軽量版（WithPhone_軽量版.prefab）が入っています
WithPhone フォルダ	PCで動かす連携ソフト「WithPhone.exe」と、その動作に必要なファイルです
説明書（PDF）	この説明書です。日本語・English・한국어・簡体中文・繁體中文

VRChatのアバターは、外部のインターネットと直接やり取りできません。WithPhone.exeが、VRChat（OSC）とWith Phoneのサーバーの間をつなぎます。

3. 導入の手順

3-1. アバターに入れる（Unity）

1. アバターのプロジェクトにModular Avatarが入っていることを確認します。
2. WithPhone.unitypackageをプロジェクトに読み込みます。
3. Assets/VRCPhone の中のprefabを1つ選び、ヒエラルキーのアバターの直下に置きます。
   - WithPhone.prefab: 通常版
   - WithPhone_軽量版.prefab: 軽量版（「4. 軽量版について」を参照）
4. 必要に応じて、手に持つ位置などを調整します（「13. Unityでの調整」を参照）。
5. いつもどおりアップロードします。

> 独自のシェーダーを多く使っているため、初めて読み込んだ時と初回のアップロードでは、シェーダーの準備に数分かかることがあります。2回目からは速くなります。

3-2. WithPhone.exe を起動する

1. ダウンロードしたzipを、好きな場所に展開します。zipの中を開いたままでは起動しないでください。
2. 展開したフォルダの中の「WithPhone」フォルダにある WithPhone.exe を起動します。
3. 初回は、ブラウザでログインのページが開きます。DiscordまたはGoogleでログインしてください（次回からは不要です）。
4. With Phoneのウィンドウに「VRChatを待っています」と表示されれば準備完了です。

VRChatで遊んでいる間は、With Phoneのウィンドウを開いたままにしてください（最小化してもかまいません）。ウィンドウを閉じるとWith Phoneも終了します。

> Windowsの「PCが保護されました」が表示された場合は、「15. WithPhone.exeの安全について」をお読みください。

3-3. VRChatでOSCを有効にする（初回のみ）

1. アクションメニュー → オプション → OSC → Enabled をオンにします。
2. VRChatのログが出力される設定になっていることを確認します（「14. VRChatのログについて」を参照）。初期設定のままであれば変更は不要です。

アバターのOSCの設定ファイルは、新しいバージョンに入れ替えた時もWithPhone.exeが自動で作り直します。表示がおかしい時は、アクションメニュー → オプション → OSC の「Reset Config」を1回押してください。

3-4. With Phone を出す

アクションメニュー → WithPhone → 「左手に持つ」（または「目の前に固定」）を選びます。

4. 軽量版について

同期パラメーターに余裕がないアバター向けに、軽量版（WithPhone_軽量版.prefab）を用意しています。

- 同期パラメーター: 通常版 約49 bit / 軽量版 約25 bit
- 違いは、猫型コンパニオンが周りの人に見えないことだけです。猫型コンパニオンは自分の画面では通常版と同じように動き、猫カメラやここっとテイルも使えます。
- 通常版と軽量版は、どちらか1つだけをアバターに置いてください。

5. 新しいバージョンへの入れ替え

1. 新しいWithPhone.unitypackageを、そのまま上から読み込みます。アバターに置いたWithPhoneを消す必要はなく、Inspectorで合わせた値もそのまま残ります。
2. アバターをアップロードし直します。
3. 新しいzipを展開し、新しいWithPhone.exeを使います。写真は前のフォルダの「photo」に、猫と会話拡張パッケージは前のフォルダの「llm」「stt」にあります。必要に応じて新しいフォルダへ移してください。

アバターのWithPhoneを消して置き直した場合も、Inspectorで合わせた値は自動で戻ります（アバターごとの控えを、プロジェクトの UserSettings/WithPhone に保存しています）。

新しいバージョンが公開されると、Unityで1日1回お知らせします。Tools → With Phone からも確認でき、BOOTHのページを開くことができます。

6. 基本の操作

持ち方と操作

- VR: With Phoneを左手に持ち、右手の人差し指で画面に触れて操作します。目の前に固定した時は、左手の人差し指でも押せます。

- デスクトップ: VRChatの中で Alt+F を押すとペンモードになり、マウスで操作できます（「12. デスクトップでの操作（ペンモード）」を参照）。

電源と展開

本体のスティック上部の光るボタンを1秒長押しすると、電源が入ります。もう一度長押しすると電源が切れます。短く押すと、画面を開く・しまうを切り替えます。

ホーム

アプリが横に並んでいます。押すと開きます。本体のスティックの時計の下の輪（ホームボタン）で、ホームに戻ります。

アプリ	内容
メッセージ	フレンドとのトーク、グループ、音声通話
猫カメラ	猫型コンパニオンの目線で写真を撮る
画面同期	自分の画面を相手に見せる
ここっとテイル	猫型コンパニオンの育成、釣り、おしゃべり、にゃるかでぃあ
設定	言語、音量、マイク、スピーカーなど
アラーム	時刻を決めて鳴らす
だれかと通話	With Phoneを使っている誰かとランダムに通話する
ブラウザ・SNS・リアルタイム翻訳	製品版で提供予定の機能です（鍵の印が付いています）

履歴（タスクリング）

画面の下の中央から上へ払うと、開いているアプリのカードが自分のまわりに輪になって並びます。横に払うと輪が回り、カードを押すとそのアプリが開き、カードを上へ払うとそのアプリを閉じます。

液晶の右のボタン

ボタン	内容
下（ネームプレート）	VRChatのネームプレートを隠す・出す（VRChatの Ctrl+N と同じです）
中央（猫）	猫型コンパニオンを手元に戻し、猫の過ごし方を「追従」と「枠の上で休む」で切り替えます
上（送り直す）	画面やアイコンが崩れた時に、表示をすべて送り直します

アクションメニュー（WithPhoneの中）

項目	内容
左手に持つ	左手にWith Phoneを持ちます
目の前に固定	顔の前にWith Phoneを出して、その場に固定します
展開	画面を開く・しまう（本体のボタンと同じです）
友だち交換	With Phone同士を合わせて、フレンドを交換します
左腕を伸ばす	（デスクトップ）左腕を胸の前に出します。友だち交換の時に使います
ペンモードの倍率	（デスクトップ）ペンモードの小窓の大きさ
ペンモード	（デスクトップ）マウスでWith Phoneを操作します
マナーモード	通知音・着信音を鳴らしません
掴むモード	（VR）目の前に固定したWith Phoneを、左手で掴んで動かせます
ポインター / 左利きポインター	（VR）手の光線とトリガーで、離れた所から操作します
スマホの大きさ	With Phoneの大きさ（0% = 標準 ～ 100% = 5倍）
猫の大きさ	猫型コンパニオンの大きさ（1～3倍）

設定

項目	内容
Language	日本語 / English / 한국어 / 简体中文 / 繁體中文
音量	With Phoneの音（起動音・通知・着信・アラームなど）の大きさ。自分にだけ効きます
マイク設定	音声通話で使うマイク。ボイスチェンジャーを使う時は、その出力先（仮想ケーブル）を選んでください
スピーカー	音声通話の相手の声を出す機器
ペンの感度	（デスクトップ）ペンモードのペン先の速さ

UnityのInspectorの一番上の「Language」を変えると、Inspectorとアクションメニューの表示も切り替わります。

7. メッセージ

友だち・トーク

- 左のメニューは、友だち（フレンドの一覧）・トーク（やり取りのある相手とグループ）・設定です。

- フレンドを押すとプロフィールが浮かびます。吹き出しでトーク、受話器で音声通話を始めます。
- アイコンの右下の点は、緑がオンライン、オレンジが取り込み中、灰色がオフラインです。
- 相手が文字を打っている間は、会話の一番下に「入力中」が表示されます。
- WithPhone.exeを閉じている間に届いたメッセージは、起動した時にホームとトークに未読の数で表示されます。
- With Phoneを入れていないアバターを使っている時も、メッセージは画面の右下の小窓（VRではSteamVRの通知）でお知らせします（With Phoneのウィンドウの「別のアバターでも通知」）。

フレンドの追加

- メッセージの設定にある自分の「フレンドコード」を相手に伝え、相手のコードを「フレンドを追加」で入力します。
- または、2人ともアクションメニューの「友だち交換」をオンにして、With Phoneの本体のスティック同士を合わせます。
- 同じグループのメンバーには、グループの中からフレンド申請を送れます。

自分のプロフィール

名前・一言・アイコン・状態（オンライン / 取り込み中）を、メッセージの設定で変更できます。「ワールドを見せる」をオンにすると、今いるワールドがフレンドに表示されます（初期設定はオフです）。

公式のアカウント

運営の公式アカウント（//Alive: 02;）が、最初からフレンドに入っています。運営からのお知らせに使います。

8. グループ

トークの中から、フレンドとグループを作れます。

- メンバーは20人まで、グループ通話は6人までです。
- グループの名前と画像は、メンバーなら誰でも変更できます。メンバーの追加も、メンバーなら誰でもできます。
- グループを作った人（オーナー）は、メンバーを外すことと、グループを解散することができます。メンバーを外す時は、追放のボタンを長押しします。
- 解散すると、グループのメッセージと記録はすべて削除されます。
- グループ通話中は、ミュートしているメンバーのアイコンの右下にミュートの印が表示されます。
- 古いバージョンのWith Phoneを使っている人は、グループに追加できません。新しいバージョンへの入れ替えをお願いしてください。

9. 音声通話

フレンドとの通話

フレンドのプロフィールの受話器を押すと、相手を呼び出します。相手が「出る」を押すとつながります。

- 通話の画面の音量のバーで、相手の声の大きさを変えられます（0〜200%）。
- ミュートのボタンで、自分のマイクを止められます。
- 通話の画面をしまうと、本体の上に通話中の札が浮かびます。押すと通話の画面に戻ります。
- 通話の間は、PCの中でEdgeまたはChromeの小さな通話用のウィンドウが表示されないまま動きます。

だれかと通話

ホームの「だれかと通話」を開き、大きなボタンを押すと、同じように相手を探しているWith Phoneの利用者とランダムにつながります。

- 相手の言語を、全世界 / JP / KR / EN / CN から選べます。お互いの希望が合う相手とだけつながります。
- 相手に表示されるのは、With Phoneの名前だけです。

声の中継について

音声は暗号化して中継設備を経由して届けるため、相手に利用者のIPアドレスは伝わりません。運営者は通話を録音しません。

10. 画面同期

ホームの「画面同期」から、自分のWith Phoneの画面を見せる相手を選びます。

- 同じインスタンスにいるフレンドを選んで見せる
- 同じインスタンスにいるWith Phoneの利用者全員に見せる

見ている相手のWith Phoneの上に、あなたの画面が浮かびます。同じインスタンスで同時に見せられるのは7人まで、1人が同時に見られる画面は4人分までです。

> 共有中は、画面に表示されているもの（メッセージなど）が相手にも見えます。見せたくない画面の時は共有を止めてください。

11. 猫型コンパニオン・ここっとテイル・にゃるかでぃあ

猫型コンパニオン

電源を入れると、量子の粒から猫型コンパニオンが生まれます。With Phoneの上で休んだり、宙を舞ったりします。指先でつつくと（デスクトップではペン先でクリック）喜びます。

猫カメラ

ホームの「猫カメラ」を開くと、猫型コンパニオンがカメラを持ちます。With Phoneの画面がファインダーです。

- 左下のスティックで前後左右、▲▼で上下に動き、景色をドラッグして向きを変え、ホイールでズームします。
- デスクトップでは、WASDで移動、Space / Cで上下、Shiftで速く動かせます。
- 白い丸がシャッターです。タイマー（OFF / 3 / 5 / 10秒）と縦の写真も使えます。
- 写真は WithPhone.exe の隣の「photo」フォルダにPNGで保存されます。

> フェイスミラーをオンにしていると、写真にフェイスミラーが写り込みます。撮る前にオフにしてください。

ここっとテイル（猫型コンパニオンの育成）

猫型コンパニオンに名前を付けて、一緒に過ごすアプリです。

機能	内容
なかよし度	お世話や遊びで上がり、レベル（1〜10）に応じて機能やきせかえが解放されます
ごはん・おやつ	食べ物をあげると、本体の猫型コンパニオンが実際に食べる仕草をします
釣り	投げる → 当たりでタップ → 長押しで巻く。竿とえさで釣れる魚が変わります。釣った魚はごはんにしたり、売ったりできます
ショップ	釣りやゲームで貯めたコインで、竿・えさ・食べ物・きせかえを買えます。魚を売ることもできます
きせかえ	リボン・首輪・マフラー・帽子などを猫型コンパニオンに付けられます。周りの人にも見えます
毎日のごほうび	毎日開くと、7日周期でごほうびがもらえます
おでかけ	2人のWith Phoneを合わせると、猫同士が遊びます
おはなし	猫型コンパニオンと文字や声でおしゃべりできます（下の「おはなし」を参照）

おなかが空いた時やさみしい時は、猫型コンパニオンから通知でお知らせします。

おはなし（猫と会話拡張パッケージ）

猫型コンパニオンと文字や声で会話する機能です。PCの中で動く小さな言語モデル（LLM）と音声認識（Whisper）を使うため、初回に「猫と会話拡張パッケージ」のダウンロードが必要です。WithPhone.exeの起動時、またはここっとテイル → おはなし から入れられます。

言語	ダウンロードの大きさ
日本語	約1.4GB
English / 한국어 / 简体中文 / 繁體中文	約1.3GB

- 話しかけた言葉、声、猫が覚えたことは、PCの中にだけ保存され、運営者には送られません。
- 「こえで話す」をオンにすると、マイクで話しかけられます。Alt+T でも切り替えられます。
- 猫の返事は、画面の右下と猫の頭の上の吹き出しに表示されます。
- 「おぼえていること」から、猫の記憶を確認・削除できます。
- 入れた拡張パッケージは、With Phoneのウィンドウの「拡張パッケージ」から1つずつ削除できます。

にゃるかでぃあ（カード対戦）

ここっとテイル → あそぶ → にゃるかでぃあ で遊べるカード対戦ゲームです。

遊び方	内容
ひとりで遊ぶ	CPUと対戦します
オンライン対戦	レーティング（1500から）が近い相手と対戦します。参加費と勝利のごほうびにコインを使います
フレンドと対戦	フレンドに招待のメッセージを送って対戦します
デッキ	28枚のカードから20枚を選び、ニャルティメット（必殺技）を5種類から2つ選びます。デッキはアカウントに保存されます

- デスクトップのペンモードでは、盤が画面に重なって表示されます。
- VRでは、SteamVRのスクリーンに表示されます。トリガーで押し、グリップで掴んで動かし、角で大きさを変えます。SteamVRを使っていない場合は、With Phoneの液晶に表示されます。
- 盤の右上の「–」で最小化、「×」で閉じます。最小化している間も対戦は続きます。
- タイトル画面の「せってい」で、音量と言語を変更できます。

12. デスクトップでの操作（ペンモード）

VRChatの中で Alt+F を押すと、ペンモードになります。With Phoneを映した小窓が画面に表示され、マウスでペン先を動かして操作できます。

- クリックで押し、押したまま動かすとフリックやスクロールになります。
- ペンモード中もWASDで移動できます。
- Alt+F・右クリック・Esc でペンモードを終了します。
- 小窓の大きさはアクションメニューの「ペンモードの倍率」、ペン先の速さは設定の「ペンの感度」で変更できます。

キーボード

- かな（フリック入力）、英字（QWERTY）、ローマ字入力、数字・記号に切り替えられます。韓国語では2ボル式のキーボードになります。
- かなを打つと、キーボードの上に漢字の候補が表示されます。変換はPCの中のMicrosoft IMEで行い、打った文字がPCの外に送られることはありません。
- With Phoneのキーボードを開いている間は、PCのキーボードでも入力できます（Enterで送信、Shift+Enterで改行）。

13. Unityでの調整（Inspector）

アバターに置いたWithPhoneを選ぶと、Inspectorに設定が表示されます。アバターによって体の形が異なるため、合わない時はここで調整してください。

項目	内容
Language	Inspectorとアクションメニューの言語
左手のWithPhoneの位置	「左手に持つ」の時の位置と向き
左手の調整	左手の人差し指で押す時の判定の位置（指先の長さ・上下）
右手の調整	右手の人差し指の判定と、ペンモードの置き場所・右腕の曲げ方
目の前に固定の位置	「目の前に固定」の時の位置
通知の光る玉	通知の光る玉の位置

調整中は、アバターの骨を一時的に動かしています。調整を終えると元に戻ります。衣装の着せ替えなど、ほかの作業の前に調整を終えてください。

14. VRChatのログについて

WithPhone.exeは、VRChatがPCに書き出している記録のファイル（ログ）を読んで、今いるワールドとインスタンス、VRかデスクトップかを判断しています。

- ログを使う機能: 友だち交換、画面同期、ワールドを見せる、ホームの現在地の表示、VRとデスクトップの切り替え
- 読むのは、ワールドに入った時の行（ワールド名とインスタンスの番号）と、VRかデスクトップかの行だけです。
- インスタンスの番号は、サーバーに送る前に元に戻せない形（ハッシュ）に変換します。
- ワールドの名前をサーバーに送るのは、設定の「ワールドを見せる」がオンの時だけです。

VRChatは初期設定でログを出力します。VRChatの設定（Settings → Debug）のLoggingがオフの場合は、オンにしてVRChatを起動し直してください。

15. WithPhone.exeの安全について（必ずお読みください）

WithPhone.exeは個人で開発しており、まだコード署名（発行元を証明する電子署名）をしていません。そのため、Windowsやウイルス対策ソフトが注意を表示することがあります。

「PCが保護されました」が表示された時

「詳細情報」→「実行」で起動できます。心配な方は、下の方法でファイルを確認してから起動してください。

ファイルが本物か確認する

- VirusTotal（https://www.virustotal.com/）にアップロードすると、多数のウイルス対策ソフトでまとめて検査できます。
- ファイルの指紋（SHA-256）を、BOOTHのページに記載している値と比べられます。WithPhone.exeのあるフォルダでPowerShellを開き、`Get-FileHash .\WithPhone.exe` を実行してください。
- 配布はBOOTHのページからのみ行っています。ほかの場所で配られているWithPhone.exeは使わないでください。

ウイルス対策ソフトに止められた時

検知ソフトから除外してください。できればサポート（support@alive02.com）までご連絡ください。誤検出として、ウイルス対策ソフトの会社に報告します。

WithPhone.exeが行うこと

- VRChatのOSC（このPCの中だけ）で、アバターのWith Phoneと値をやり取りします。
- With Phoneのサーバー（https://withphone.alive02.com）と暗号化した通信を行い、メッセージ・通話・画面同期を届けます。
- With Phoneのウィンドウやペンモードの表示のために、補助のプログラム（helper.ps1、同じフォルダに中身の分かる形で入っています）を動かします。
- ペンモードの間だけ、Alt+Fとマウスの動きを受け取ります。Alt+T（こえで話す）はVRChatが前面にある時だけ受け取ります。
- With Phoneのキーボードを開いている間だけ、PCのキーボードで打った文字を受け取ります。
- 「こえで話す」がオンの間だけ、選んだマイクの音を聞き取ります。音声はPCの中で文字に変換し、保存も送信もしません。
- 猫と会話拡張パッケージを入れた場合は、言語モデルと音声認識のプログラムをPCの中で動かします。ダウンロードは確認のうえで行い、内容の正しさ（SHA-256）を確かめた物だけを入れます。
- SteamVRを使っている時は、コントローラーの入力を読み、VRスクリーンを表示します。
- 猫カメラのシャッターを押した時だけ、VRChatの画面を写真として取り込みます。
- にゃるかでぃあの盤や目の前に固定の表示のために、画面の中のWith Phoneの位置を読み取ります。
- 音声通話の間だけ、EdgeまたはChromeの小さな通話用のウィンドウを動かし、マイクを使います。
- 動作の記録（ログ）を WithPhone.exe の隣の logs フォルダに残します（新しい10個まで。メッセージの本文は含みません）。不具合のご報告の際にお送りください。
- 設定・ログインの情報・暗号化の鍵を、%APPDATA%\VRCPhone に保存します。

WithPhone.exeが行わないこと

- Windowsの設定やほかのソフトを書き換えません。
- PCの起動時に自動で起動しません。
- ペンモード、キーボードの入力中、Alt+T 以外のキー入力を受け取りません。パスワードなどの入力を読むことはありません。
- ほかのアプリの画面を保存・送信しません。
- メッセージの本文をログに書かず、運営者が読める形でサーバーに送りません（エンドツーエンド暗号化）。

> 管理者の権限について: SteamVRが管理者として動いていると、普通の権限のWithPhone.exeはSteamVRにつなげません。その場合だけ、管理者として起動し直すかを確認します。Steamを普通に起動し直していただくのが最も確実です。

アンインストール

1. With Phoneのウィンドウを閉じます。
2. 展開したフォルダを削除します（写真は「photo」フォルダにあります。残したい場合は先に移してください）。
3. 設定とログインの情報も削除する場合は、%APPDATA%\VRCPhone のフォルダも削除します。この中の key.json は暗号化の鍵です。削除すると、過去のメッセージをこのPCで読めなくなります。

アカウントの削除は、support@alive02.com までご連絡ください。

16. うまくいかない時

症状	対処
「ポート 9001 を他のアプリが使っています」と表示される	VRCXなど、OSCを使うほかのアプリを閉じてから起動し直してください。With Phoneのウィンドウで別の受け口を選ぶこともできます
「VRChatを待っています」のまま	VRChatのOSCがEnabledになっているか確認してください
With Phoneの画面が表示されない・おかしい	アクションメニュー → オプション → OSC → Reset Config を1回押してください
画面やアイコンが崩れている	液晶の右の「送り直す」ボタンを押してください
液晶に「ブリッジが起動していません」と表示される	WithPhone.exeを起動してください
ホームに「VRChatのログが読めません」と表示される	VRChatの設定（Settings → Debug）のLoggingをオンにして、VRChatを起動し直してください
通話がつながらない	EdgeまたはChromeが入っているか、設定の「マイク設定」が正しいか確認してください
VRでにゃるかでぃあのスクリーンが表示されない	SteamVRを起動してください。Steamを管理者として起動している場合は、普通に起動し直してください
ポインターのトリガーが効かない（Pico 4など）	SteamVRを起動した状態でお使いください
アップロードの時に同期パラメーターが足りない	軽量版（WithPhone_軽量版.prefab）をお使いください
表情を付けたままアバターを替えて戻すと表情が崩れる	VRChatの動作によるもので、ほかのアバターでも起きます。アバターを読み込み直すと直ります

解決しない場合は、何をしたか・どうなったかを、スクリーンショットと WithPhone.exe の隣の logs フォルダの新しいファイルを添えて、support@alive02.com までお送りください。

17. ご注意

- 現在は公開ベータ版です。機能の追加・変更、データの初期化、サーバーの一時停止が、予告なく行われることがあります。
- ベータ期間中は無料です。今後、製品版（有料のライセンス）として提供する予定です。ベータ版の利用者に自動で課金することはありません。
- With PhoneはVRChat Inc.とは関係のない、Alive:02が独自に提供するサービスです。VRChatのアカウント情報には一切触れず、VRChatのクライアントを改造するものではありません。
- ご利用には、利用規約とプライバシーポリシーへの同意が必要です（ログインした時点で同意したものとみなします）。
